

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	宮田高原遊歩道・牧道維持修繕事業
事業主体 (連絡先)	宮田村 産業振興推進室 商工観光係 0265-85-5864
事業区分	⑤環境保全、景観形成に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	575,893円 (うち支援金: 422,000円)

事業内容

宮田村の観光振興事業の一つとして、宮田高原、黒川渓谷といった観光資源を有効に活用するために、それらを結ぶ遊歩道、牧道の整備を行いました。整備作業は地域住民の参加により、共同作業で実施を行いました。作業を通じて、地元への愛着や住民交流の活動、自然環境への意識の高まりを活性化することが出来ました。



【 黒川渓谷 】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ①宮田高原及び黒川渓谷へ通ずる牧道の整備を実施し、普段なかなか来れない宮田高原へ足を運び、広く一般応募した人々が協力しながら澄んだ空気の中で作業を行い、自然と触れ合うことが出来ました。
(作業参加人数 50人)
- ②宮田高原から黒川渓谷を通過して伊勢滝までウォーキングを実施した。秋の色とりどりの紅葉を見ながら隊列を組み、参加者同士が一体となって交流が芽生えと共一体となって中央アルプスの自然を満喫できました。(参加人数 70人)

【目標・ねらい】

- ①共同の整備作業による住民交流の活性化と自然保護への意識向上
- ②イベントによる宮田高原・黒川渓谷の自然との触れ合いや、山岳登山時の安全知識の学習と対応を身につける。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

宮田高原・黒川渓谷をさらに知っていただくと共に共同作業により自然への愛着感を持って頂き、次年度以降も訪れて頂くようにします。今後も雄大な自然を満喫できる宮田高原の遊歩道や牧道について、多くの観光客の来訪を迎えられるよう自然環境の維持整備に努めていきます。

※自己評価 (事業効果) 【A】

【理由】

村内だけでなく広域的な参加があり、宮田高原・黒川渓谷の魅力を広く周知できた。また、自然に触れながら人が人もなく、無事ウォーキングが開催できた。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある